

美味しくて与えやすい
ブリッジパラダブル[®]錠

ワンちゃんへ、そして、
ペットオーナーへの配慮がうれしい。



PimobetHeart[®]

動物用医薬品 要指示 指定

ピモベハート[®]錠 1.25 ピモベハート[®]錠 5

犬用慢性心不全用ピモベンダン製剤

【包装】50錠（10錠×5シート）



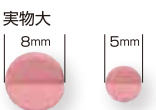
簡単投与

ブリッジ錠の採用で簡単に分割でき、
投薬時のストレスを軽減します。



小さく、美味しい

従来品に比べ、飲ませやすい大きさになりました。
バスター錠、クリア錠と同じく、犬が好むフレーバーです。



品質に配慮した日本製

保存性の良い、高防湿のPTP包装です。
投薬期間に応じた処方が可能です。

動物用医薬品

要指示

指定

ピモベハート錠 1.25

ピモベハート錠 5

犬用慢性心不全用ピモベンダン製剤

【成分及び分量】

品名	ピモベハート錠1.25	ピモベハート錠5
有効成分	ピモベンダン	
含量	1錠中 1.25mg	1錠中 5mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全に伴う症状の改善

【用法及び用量】

体重1kg当たりピモベンダンとして0.25mgを1回量とし、1日2回、朝夕おおよそ12時間間隔で経口投与する。尚、体重別には次の投与量による。

体重 (kg)	ピモベハート錠 投与量/回の 投与錠数組み合わせ例		ピモベンダン 投与量 (mg/kg)
	1.25mg	5mg	
2.0kg 以上～ 3.6kg 未満	●	—	0.17～0.31 mg/kg
3.6kg 以上～ 6.6kg 未満	●	—	0.19～0.35 mg/kg
6.6kg 以上～ 8.6kg 未満	● ●	—	0.22～0.28 mg/kg
8.6kg 以上～ 12.0kg 未満	—	●	0.21～0.29 mg/kg
12.0kg 以上～ 14.0kg 未満	●	●	0.22～0.26 mg/kg
14.0kg 以上～ 17.0kg 未満	●	●	0.22～0.27 mg/kg
17.0kg 以上～ 19.0kg 未満	● ●	●	0.23～0.26 mg/kg
19.0kg 以上～ 23.0kg 未満	—	●	0.22～0.26 mg/kg
23.0kg 以上～ 28.0kg 未満	●	●	0.22～0.27 mg/kg
28.0kg 以上～ 34.0kg 未満	—	● ●	0.22～0.27 mg/kg
34.0kg 以上～ 37.0kg 未満	●	● ●	0.24～0.26 mg/kg
37.0kg 以上～ 43.0kg 未満	—	● ●	0.23～0.27 mg/kg

上記は目安であり、例えば、5mg錠1錠は1.25mg錠4錠で代用できる。

※錠剤は実物大ではありません。

販売業者
共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

製造販売業者
三宝製薬株式会社
福島県白河市大信下新城字東区2-5

開発元
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1

【使用上の注意】

基本的事項

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は食餌のおおよそ1時間前に投与すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、本剤は他の容器に入れ替えないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

専門的事項

① 禁忌

- ・本剤は犬以外に使用しないこと。

② 対象動物の使用制限等

- ・本剤は体重2kg未満の犬には投与しないこと。
- ・妊娠犬及び哺乳犬に対する安全性は確立されていないので、妊娠中及び授乳中の犬には投与しないこと。やむを得ず、授乳中の犬に投与する場合には、授乳を中止すること。
- ・重度な肝障害を有する犬には慎重に投与すること。

③ 重要な基本的注意

- ・肥大性心筋症あるいは機能的又は解剖学的に心拍出量の増加が見込まない症例(例えば、大動脈弁狭窄症)には用いないこと。
- ・必要により適切な対症療法(フロセミドによる利尿等)を行うこと。重度の慢性心不全に対する本剤の単独投与による有効性は確立されていない。

④ 相互作用

- ・本剤による心筋収縮はカルシウム拮抗薬のベラパミルやβ拮抗薬のプロプラノロールで減弱する。

⑤ 副作用

- ・まれに軽度の頻脈及び嘔吐がみられることがある。これらの作用は用量依存性であるため、投与量を減じることで避けられることがある。

【貯法】 室温保存、気密容器

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

ピモベンダンは心筋のトロポニンCのCa²⁺感受性増強作用及びホスホジエステラーゼ(PDE)活性抑制作用を有し、陽性変力作用及び血管拡張作用を示す。

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL: 03-3264-7556